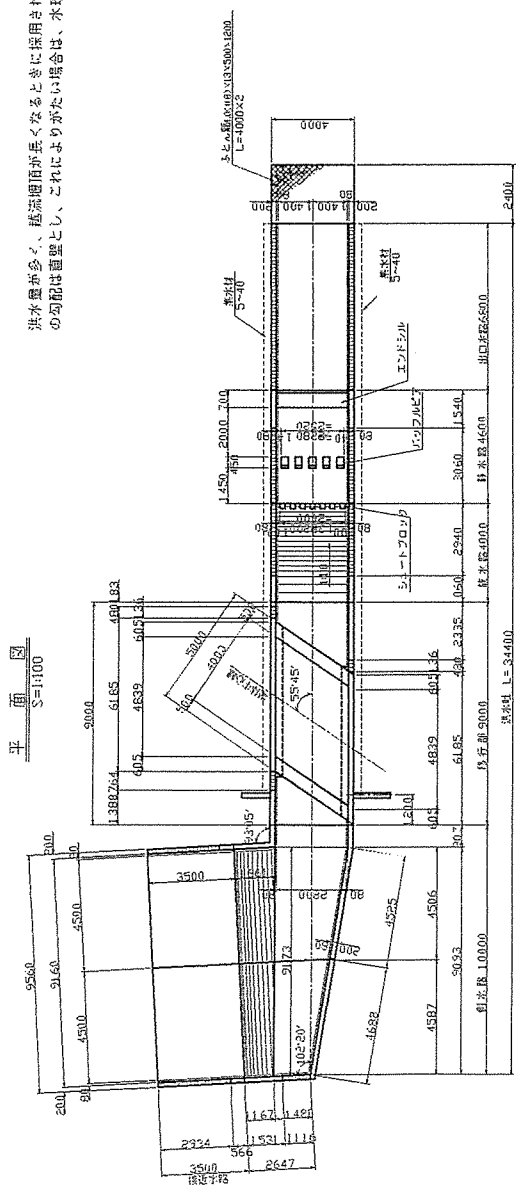


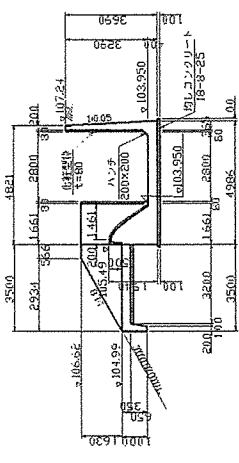


側水路式

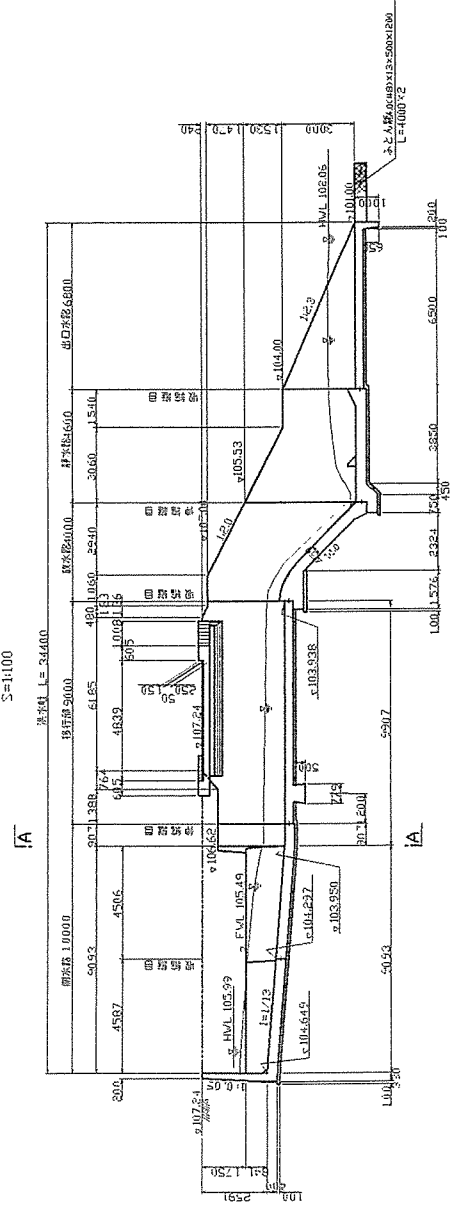
洪水量が多く、枯水期頂が長くなることに採用される形式である。一般には側水路の越流側の勾配は1:0.7 対岸（通常山側）の勾配は圃型とし、これによりたがいは場合は、水理実験等で、流況の安全性を確認する事が定められている。



A - A  
S=1:100



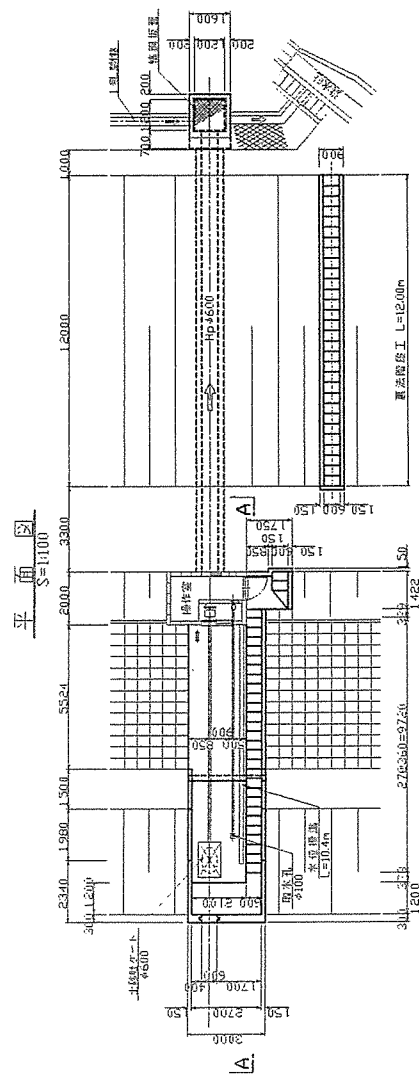
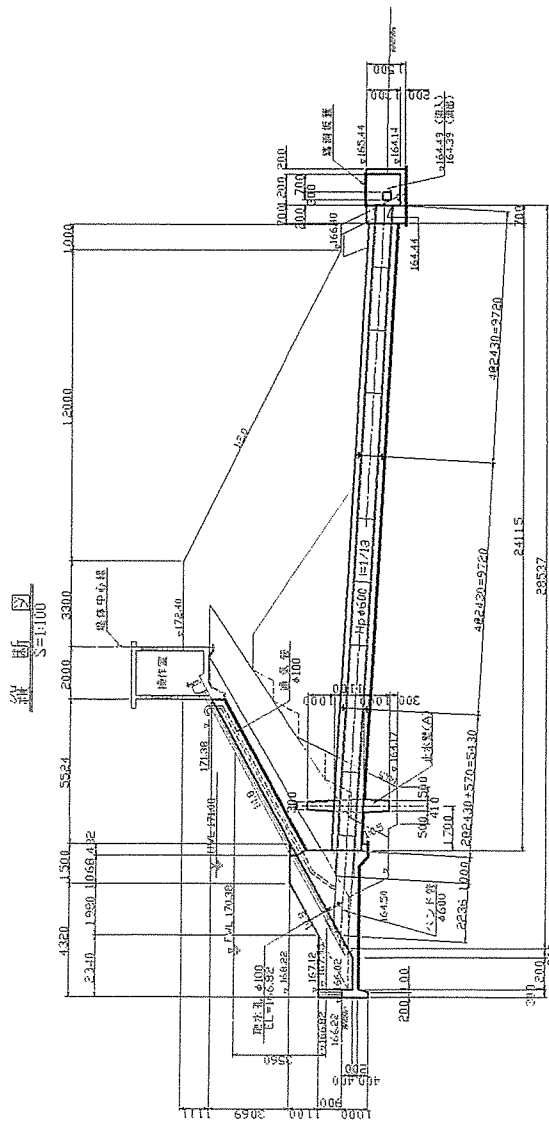
縦断面図  
S=1:100



この例は、公団内の施設であったため、水路内壁は化粧型枠で、越流側は舗石を施して化粧を施している

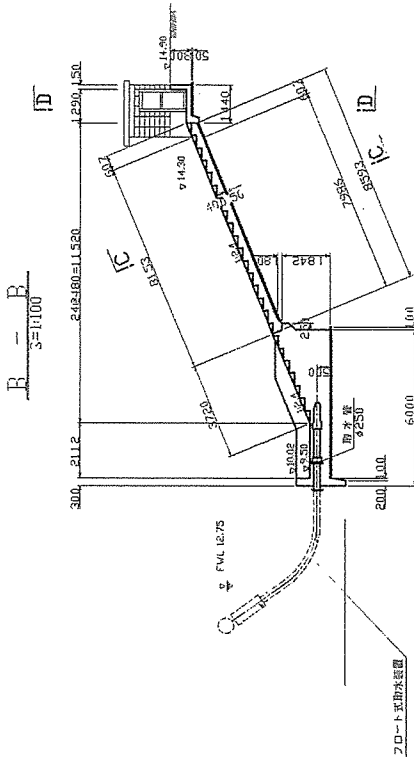
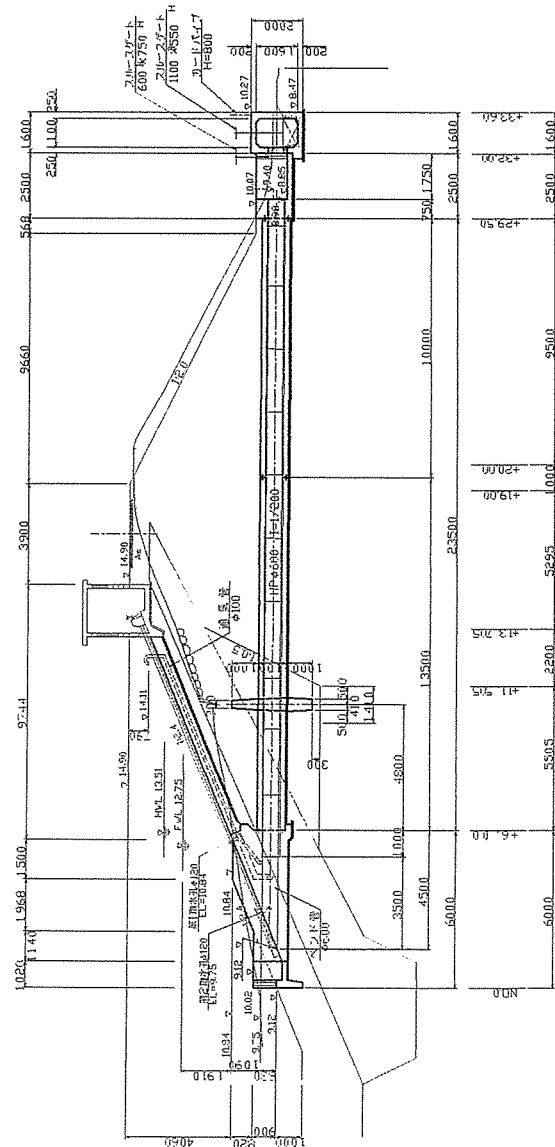


堤防上の操作室で土砂吐ゲートを操作するケース

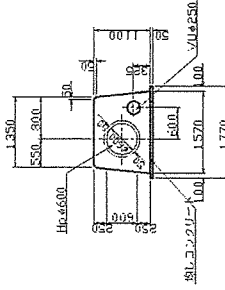


斜種タイプ

縦断面図(A-A)  
S=1/100



底横断面図  
S=1/50



平面図  
S=1/100

